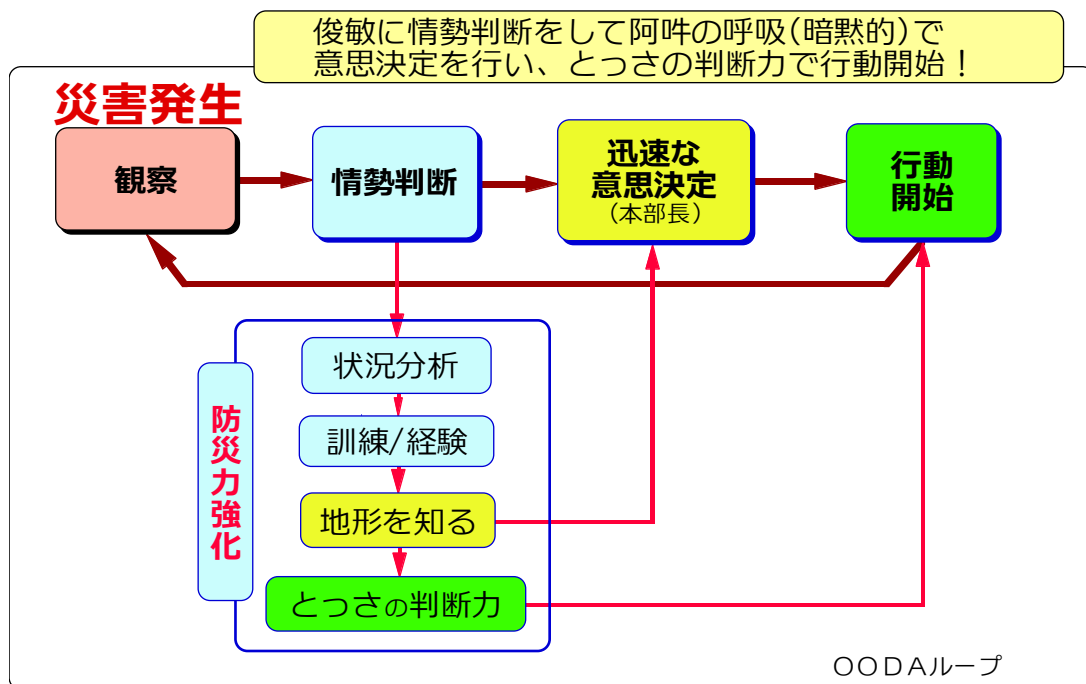


自然災害社員防災力強化研修会

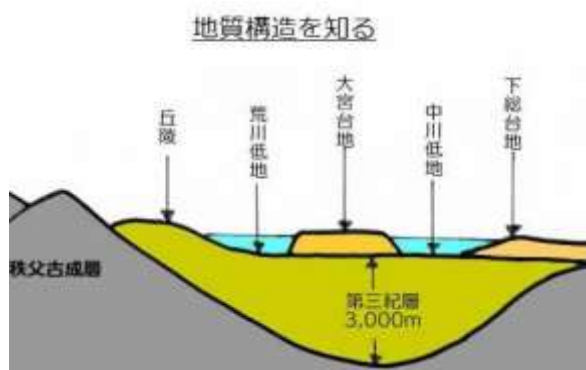


埼玉県に特化した研修です。

テーマ：社員の防災力強化

1. 地形を知ると街(リスク)が分かる(45分)

大陸・火山島の衝突に始まり、奈良時代は全国から農民が農産物を税金として、平城京へ納めるため農民の旅が始まりました。鎌倉時代に入って武士が全国を往来するようになり、安全な旅を目指してリスクの少ない地形を選んで道を整備しました。その道の近くには人々を守るため神社や寺がつけられ、今も地域の人々の心の支えです。



2. とっさの判断力(45分)

突然グワッと来た! とっさの判断で窓を開いた。こんな経験を多くの方がお持ちのことと思います。少し前まで大企業では分厚い防災マニュアルの策定が行われていました。

しかし、専門家はマニュアルよりとっさの判断力が重要であり、災害時は臨機応変に行動することが必要であると言っております。

東日本大震災では、宮城県と岩手県の小学校教諭の日頃の訓練の積み重ねが、とっさの判断に結びつきマニュアルと違う避難先に変更して生徒の命を救った。(日経・震災取材ブログ)

所要時間：1時間30分

講師：中小企業診断士 岩間文雄

無料(伊奈、上尾、桶川、北本、鴻巣)

研修会参加者資料

1. 地形を知ると街(リスク)が分かる

1. 大陸・火山島の衝突

- ・インド亜大陸がユーラシア大陸に衝突してヒマラヤ山脈を形成
- ・南海の火山島が静岡と神奈川の間(フォッサマグナ)に衝突して伊豆半島が形成
- ・中央構造線が押し上げられ、伊豆半島の地震が真北の秩父や前橋に影響している

2. 関東造盆地運動

- ・大宮台地の加須が沈降して加須低地となり今も続く関東造盆地運動
- ・関東造盆地運動4つの代表的な沈降地帯
埼玉古墳、羽生水郷公園、浮野の里、酒巻古墳(埋没全て23基)

3. 大宮台地と低地

- ・埼玉県の地形は大宮台地と低地(加須低地、中川低地、荒川低地)及び丘陵
- ・埼玉県は3つの低地(加須、荒川、中川)と2つの活断層(深谷断層、綾瀬川断層)
- ・埼玉県の活断層、西埼玉地震(1931年深谷・櫛挽断層)

4. 歴史ロマンの伝鎌倉街道・・・古代からリスクを避けた街道

- ・大宮台地南端「伝鎌倉街道」(鴻巣から上尾まで現在の県道57号)は鎌倉時代以前からの街道沿いに神社や寺が多数あり、低地を避けて安全な旅を目指していたと思います。

5. 関東郡代「伊奈半左衛門」・・・関東地方の治水対策で江戸の洪水を防ぐ

- ・三河から徳川家康と共に江戸へ、その後に鴻巣、伊奈町(陣屋)、川口・赤山(陣屋)、
200年続いた関東郡代(治水、農業振興、街道整備、他)
- ・富士山の宝永噴火、真下の須走の住民を救う、後に切腹か

6. ハザードマップと地形調査の取り組み

- ・ハザードマップによる浸水・土砂災害・道路防災・台地と低地
- ・地理院地図による活断層調査
- ・貴社の地形リスク

2. とっさの判断力

1	突然グラツときた！ あなたはどうする？・・・身体知で感じる危険回避力 過去の経験、防災訓練、会社での現場力、地形の把握(低地、河川、崖等)
2	間違った地図でも道しるべ！・・・OODAループ(4行動の繰り返し) ①周辺の観察力 ②情勢の判断力 ③臨機応変な意思決定力 ④行動力
3	とっさの判断力が生死を分ける・・・火災時、地震発生時、洪水時等における危険回避力 (例：火災時は、階段ではなくベランダから逃げる・・・水平に逃げる)
4	地震発生直後の対応・・・NHKアナウンサーが繰り返してアナウンスの言葉！ 瞬時に安全な場所を認識、倒壊の危険、上からの落下物から身を守る、窓から離れる等
5	救急対応の手順・・・心肺蘇生はアンパンマンの曲に合わせて力強く、長く、交代
6	止血法・・・直接圧迫と関節圧迫法、そして、血液には手を触れない(ビニル袋)！
7	擦り傷の手当・・・水道水で洗う、ラップで巻いて細菌を防ぐ
8	指の骨折・・・細めの布ひもを購入しておき、ボールペンなどで巻く
9	足の骨折・・・傘などの長い棒で支え、ネクタイなどの紐を巻いて固定する
10	やけどの対処法・・・ズボンの上からお湯をかけてしまった時、すぐにズボンの上から水道水などを10分位かける。そして、近くの医院へ
11	初期消火の基本・・・消火器は、家庭用も業務用もすべての火災にOK！
12	炎・煙から逃れる・・・①窓を開ける ②ハンカチなどで口や鼻を覆う ③建物のぶら下がり避難は2階まで、それ以上は梯子を ④戻らない ⑤夜間は光の明るい方
13	急な階段は後ろ向きに降りる・・・急な階段は後ろ向きに降りる
14	住宅の中の安全な場所・・・2階、通路にはモノを置かない。壁の耐久力は1981年以降の建物は、それ以前に比べて1階が38%、2階が25%増加している。
15	睡眠中の地震対策・・・寝室に何時も置く習慣を(スリッパ、懐中電灯、携帯電話)まず、スリッパを履き、窓やドアを開け、壁側に寄る。
16	食器棚の扉にステンレス製の打掛錠(うちかけじょう)・・・習慣化される 冷蔵庫の転倒対策を！

17	食器棚の転倒防止・・・食器棚の転倒防止にL字金具をつける。意外と自分で出来る
18	入浴中の地震対策・・・入浴中はドアを必ず少し開いて置く習慣をつける
19	風呂の水は空にしない
20	懐中電灯やローソクが切れてしまった・・・サラダ油などを代用に使う
21	チョコレートを保存食・・・冷蔵庫に保管して1年に2回交換！ グリコのビスコ缶は5年間保存可能、寒い時、首やわきの下を温める！
22	缶詰の蓋を開ける方法・・・スプーンやマイナスドライバー、ハサミを代用する コンクリートに缶の縁を押し付ける
23	大雨時のマイカー運転中・・・その場所の地形を考えながら運転し、いつも脱出できる準備をしておく。30 cm以上はブレーキ性能が低下し、エンジン停止のリスクあり、 浸水 50 cmで車が浮き、パワーウィンドウが作動せず、水死リスクが大。
24	マイカー防災用品を準備・・・特に先の尖ったハンマーと懐中電灯は必需品
25	ポリ袋2重でバケツ代用・・・袋、紐など何でも2重(本)にすると強度アップが可能！
26	エレベーターに乗っている時・・・緊急地震速報がなったら、全ての階のボタンを押す。また、エレベーター内で緊急事態が発生した時も全ての階のボタンを押す
27	上方の危険、出入口の危険・・・施設や建物内または歩行中で地震等が発生したら、まずは上を見て安全を確認し、次に出入り口の安全を確認する。
28	上方の落下物から頭を守る・・・近くにあるイス、座布団、バック、本類など
29	土砂災害等の泥水から抜け出す・・・平泳ぎで脱出する
30	外出時の痴漢暴漢撃退法・・・携帯催涙スプレー、金属製品(懐中電灯、傘など)など 自宅では・・・催涙スプレー、家庭にある防虫スプレーも役に立ちそう
31	無差別襲撃への対応・・・催涙スプレー、列車内の座席を外す、イス、カバンなど
32	現場力を醸成・・・5S、気づき力、臨機応変力など
33	とっさの判断力の醸成・・・5S、防災研修、日常の防災学習など

備考

マイカー防災バック

防災用品の点検(単身者/家族者)	○×	準備完了日
①緊急脱出用ハンマー(無い人はすぐに備えて下さい)		
②携帯用懐中電灯(無い人はすぐに備えて下さい)		
③携帯用男女トイレ		
④医薬品(オキシドール、絆創膏、アルコールタオル)		
⑤スマートフォン充電ケーブルとシュガーソケット USB		
⑥ガンコンロなど(キャンプ用品)		
⑦アルミシート(防寒、他)		
⑧ビニールカッパ(防寒にも役立つ)		
⑨ポリ袋(大中小)		
⑩工具類(ペンチ、ドライバー、何でも切れるハサミ、金槌等)		
⑪非常用飲料水		
⑫長期保存食料(缶詰類) 、高カロリー食		
⑬軍手、マスク		
⑭笛、ホイッスル		
⑮		